

『ユニバーサルツーリズムの取り組み～兵庫県の事例から～』

新型コロナウイルスの第5類への移行に伴って移動制限が緩和され、お出かけや観光が回復していますが、障害当事者の旅行は手配の段階から事前準備が必要であったり、体験施設へのアクセスが困難であったりと「ユニバーサルツーリズム」の実現には課題があります。

そこで今回の勉強会では、ユニバーサルツーリズムを実践している兵庫県内の団体から取り組み事例を紹介します。また、障害当事者や支援者等により「障害当事者の思うユニバーサルツーリズムや今後のツーリズムのあり方」についてパネルディスカッションを行い、交通や観光事業者の皆様が何に取り組んだらよいかを考えるきっかけとします。

日時 2023年10月6日(金) 14:00～16:30 (受付開始13:30)

会場 三宮研修センター5階 505会議室

(神戸市中央区八幡通4丁目2-12カサベラFRⅡビル) ※会場アクセスは別紙を参照下さい。

定員 100名 (先着順)

申込方法 別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込締切 2023年9月29日(金)

情報保障 手話通訳、要約筆記

プログラム (講演時間 150分)

14:00 (5分)	開会挨拶	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
14:05 (10分)	趣旨説明	「兵庫県のユニバーサルツーリズムについて」 大塚 毅彦 氏(明石工業高等専門学校 建築学科 教授)
14:15 (30分)	講演	「兵庫県におけるインクルーシブツーリズムの実践」 西田 紫乃 氏(一般社団法人INCREW 代表理事)
14:45 (15分)	休憩	
15:00 (85分)	パネルディスカッション	「障害当事者の思うユニバーサルツーリズム、今後のツーリズムのあり方」 パネリスト: 飯塚 理能 氏(あかしユニバーサルツーリズムセンター) 井村 千帆子 氏(ぶりりあん生活介護事業所) 井村 恵美 氏(特定非営利活動法人たゆらぎ 理事長) 原 弘幸 氏(特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会 理事兼組織部長兼労働対策部長) コーディネーター: 鞍本 長利 氏(特定非営利活動法人ウイズアス 代表)
16:25 (5分)	まとめ	大塚 毅彦 氏 (明石工業高等専門学校 建築学科 教授)

共催: 公益財団法人関西交通経済研究センター/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援: 国土交通省近畿運輸局(予定)

お問合せ先: 公益財団法人関西交通経済研究センター(連絡先は別紙参照)

「第17回バリアフリー推進勉強会in関西」 登壇者紹介

■講演者

○西田 紫乃(にしだ しの)氏／一般社団法人 INCREW 代表理事



1971 年生まれ。大阪府堺市出身。

2016 年 次男が2歳目前に発達障害であることが発覚。

2018 年 自然環境豊かな田舎暮らしで子育てをしたいと兵庫県豊岡市に移住。移住先で出会った岡田絵美(現INCREWフィールドディレクター)との出会いを契機にアウトドア活動を開始。

INCREW の活動以外にも近隣の障害者通所施設の職員やヘルパーとしての活動、温泉宿泊施設のスタッフ、竹野ジオカヌーインストラクター、竹野スノーケルセンターパークボランティア。

【INCREWでの活動】

ユニバーサルツリーイング、ユニバーサルビーチ(ヒポキャンピング体験会)活動、ひょうごユニバーサルツーリズム相談コンシェルジュでの実践講習、県立芸術文化観光専門職大学でモビリティチームへの講義、デュアルスキー体験会、近隣小学校での出前授業、豊岡演劇祭で福祉モビリティと連携した車椅子ユーザーの野外観劇サポート、ユニバーサルキャンプ開催など(2023 年 9 月予定)

■パネルディスカッション

(パネリスト)

○飯塚 理能(いづか ただよし)氏／あかしユニバーサルツーリズムセンター



2002 年 神戸学院大学 経済学部 卒業

2004 年 神戸学院大学 経済学部 研究員 修了

2004～2007 年 特定非営利活動法人ダッシュ明石 事務局長

2009～2023 年 特定非営利活動法人ウイズアスにて、神戸・明石ユニバーサルツーリズムセンターの取り組みを担当

兵庫県福祉のまちづくりアドバイザー、明石市インクルーシブアドバイザー、明石市ユニバーサルモニター

○井村 千帆子(いむら ちほこ)氏／ぶりりあん生活介護事業所



最重度知的障害当事者。強度行動障害の状態あり。

小・中学校を地域の学校で過ごし、支援学校高等部へ入学も卒業前に退学。

その後、寝屋川高等学校定時制へ入学、卒業。

現在はぶりりあん生活介護事業所に通所。Sanbon 石鯨広報を担当。

○井村 恵美(いむら よしみ)氏／特定非営利活動法人たゆらぎ 理事長



井村千帆子氏の母。ガラスアクセサリー作家。

ショートステイみつきい、Sanbon 石鯨、ガラスアクセサリー工房玻璃色の代表。

施設に千帆子氏のショートステイ利用を断られた体験から、2019 年 4 月にショートステイみつきいを立ち上げる。Sanbon 石鯨の販売にも着手。

○原 弘幸(はら ひろゆき)氏／特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会 理事兼組織部長兼労働対策部長

ひょうご聴障ネット代表役員、兵庫県福祉のまちづくりアドバイザー。

先天性感音性難聴(両耳)。両耳の補聴器を外すと全く聞こえない状態。

親の方針で聾学校へは通わずにインテグレーション教育を受け口話を学ぶ。電話も可能。

製薬会社で国際税務担当、2015 年に立ち上げた当事者発足のプロジェクト関係において、音声認識ツールやアクセシビリティに詳しいろう者や中途失聴者と出会い、ろう文化や日本手話、難聴者の世界に興味を持ち始める。

2016 年 7 月より手話を開始、2017 年より当事者団体へ入会。

■コーディネーター

○鞍本 長利(くらもと ながとし)氏／特定非営利活動法人ウイズアス 代表



2005年から行政、観光、交通事業者、福祉団体、大学等と連携して神戸ユニバーサルツーリズムを実践。(同年9月神戸ソーシャル・ベンチャー・アワード優秀賞受賞)。現地でのサポート体制を整え、発地からの介助者同行の経費負担を削減して気軽に神戸観光が楽しめる取り組みを推進。

2007年7月 ひょうごユニバーサル社会づくり賞 受賞

2010年12月 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

「内閣府特命担当大臣賞」優良賞 受賞

2012～13年 観光庁「ユニバーサルツーリズムの普及・推進に関わる検討会」の委員選任

2021年9月 令和3年度 近畿運輸局バリアフリー化推進功労者 奨励賞 受賞

2022年5月 兵庫県功労者表彰(まちづくり部門)

上記の受賞以外にも、取り組みに対して国や自治体等から多数受賞。

■趣旨説明・まとめ

○大塚 毅彦(おおつか たけひこ)氏／明石工業高等専門学校 建築学科 教授



専門は、都市計画・生活空間計画、居住福祉のまちづくり。

神戸大学大学院自然科学研究科単位取得退学(学術博士)、豊橋技術科学大学建設工学系助手後、現在に至る。

ユニバーサル社会づくりに向けての普及・啓発、人材育成にも取り組んでおり、明石駅前ユニバーサル社会実践協議会副会長を務めたほか、兵庫県ユニバーサル実践出前講座の講師、高齢者大学校非常勤講師にも従事。

2006年 英国王立芸術大学大学院・ヘレンハムリンセンター客員研究員。

ユニバーサルデザイン&インクルーシブデザインのまちづくりを専門とし、兵庫県内で、ユニバーサルデザイン&インクルーシブデザインのまちづくりの啓発活動を実践。

明石高専内外では、まちの小さな図書館を設置、読書会(リードフォーアクション)を開催中。